

会議名	第7回千郷地域協議会		公開
日時	令和元年9月18日(水) 午後7時00分～午後9時00分	場所	西部公民館 多目的ホール
出席者	(委員) 小林光治、今泉義徳、奥平俊、長瀬三平、小林保洋、中尾文彦 中野克俊、渡邊力夫、伊藤五十人、藤田光利、小山嘉之、鶴井良久 荏原徹、山本忠史、近藤武、渡邊万奈未、平井幸枝、辻小百合 浅井泰博、近藤雅英、浅賀詳隆、藤原義秋、玉井悦子、岡山薫		
	(事務局) 企画部自治振興課：三浦部長 加藤課長、白頭主事 千郷自治振興事務所：鈴木所長、宮本主査		
欠席者	(委員) 萩平博之、鳥居重幸 山本松宏	傍聴者	1名
配布資料	次第、令和2年度地域自治区予算事業計画(案)の検討資料 地域計画策定(案)の検討資料 パブリックコメントの実施(案)資料		

議題・議事・発言等(要点記録)

1 開会

会長(荏原徹氏)より開会にあたり、本日の出席者数が定数に達している旨の説明とこれに伴い本協議会が成立することの報告がされた。

会長あいさつ

会長が挨拶を行った後議事録署名者選出に移った。

議事録署名者選出

議事に先立ち、会議録署名委員を会長より指名。
今回は「渡邊万奈未」委員、「平井幸枝」委員の2名を指名し両名共に承諾。

2 協議事項

①「平成31年度地域自治区予算事業計画(案)の検討について」

事務局より配付資料の説明及び検討資料の確認方法などの説明後、協議に移った。
(事務局からの説明内容)

- 1) テーブル番号の○印は事業実施及び予算化することで前地域協議会ですでに承認され決定したものである。
- 2) 本日は、保留とされている上記事業以外についての協議をお願いします。

以上

また、その後○印以外の提案のあった事業について、事務局により市役所の関係する所管課や団体等と調整し協議に必要とされる内容について報告が以下のとおりされた。

「テーブル番号 1 0 避難場所整備事業について」

千郷地区防災連絡会より提案のあった本事業について、前回の地域協議会では次年度は、てはじめとして各行政区 1 箇所の避難場所（主に公民館）への設置実施する計画として事業化を検討していくこととされていたが、事務局により設置に伴う積算等実施した結果、1 箇所当たりの設置事業費が予想より高額であること、さらに、本事業を実施するためには各行政区状況も様々であることから、もう少し精査が必要であることが千郷地区防災連絡会との打合せにより方針決定したことから、次年度の地域自治区予算事業計画には提案を取り下げすることになった。

「テーブル番号 2 2 避難場所案内板修繕等事業について」

上市場東住宅付近に設置されている案内板については、所管課の防災対策室と調整のうえ、すでに案内板としての機能がなされていないほか、一部間違った情報が記載されているため、現在案内板については撤去された。また、枠組みは今でも現場に残っているが、今後グラインダー等により切断し撤去する方針であるため、前回の地域協議会の場で案内板修繕等の新規事業提案がなされたが、実施する必要が無い。

以上 2 件について事務局より報告がされた。

次に議長より、○印の付いている事業以外の事業について、事務局の報告も踏まえ新規事業提案したが取り下げしてはどうかとの意見のある事業について確認がなされ、以下の新規提案事業について委員より取り下げ案の発言がされた。

「テーブル番号 2 3 交通安全施設整備事業について」

現場を再度確認及び近隣の地域住民に聞き取りしたところ、見通しが悪く危険性が高いためカーブミラーが必要であるとかの理由ではなく、旧国道 1 5 1 号線から現在の 1 5 1 号バイパスへ通り抜けする車があり、そうした車両の速度が早いため危険であるという課題であったため、今回提案した交通安全施設整備（カーブミラー設置）事業については事業化を取り下げたい。

また、事務局より補足説明として、今回事業提案のあった現場については、市道であり停止線も無いこともあり、所管課である土木課との調整により一旦停止線を施工して貰えるよう依頼したところ、土木課により一旦停止線を施工してもらえる回答を得ているとの説明があった。

その他、提案事業について取り下げする旨の意見も無かったことから、以下の 3 件の事業について取り下げることについての採決に移った。

テーブル番号 1 0 番 避難場所整備事業

テーブル番号 2 2 番 避難場所案内板修繕等事業

テーブル番号 2 3 番 交通安全施設整備事業

以上の 3 事業について採決したところ、提案事業として事業化することを取り下げすることで賛成多数により可決成立された。

このことにより、数字に○印のないテーブル番号 1 9 番、5 番、1 4 番、2 1 番、1 8 番、2 0 番について協議することとなった。

また、議長より協議にあたって地域計画策定分科会からの提案事業については、分科会により再度検討されているとのことであり、地域計画策定分科会委員長より再検討さ

れた内容及び分科会でのご意見や意向を報告を聞かせて頂きたいとの説明の後、地域計画策定分科会委員長より以下のとおり報告がされた。

(分科会委員長による地域計画策定分科会での再検討内容・意向・方針)

分科会では地域課題解決に向けた、地域計画に基づく提案事業であり、できる限り分科会からの提案事業については、優先していただきたいと考えている。

しかし、予算枠を超えているため、その枠に入るように仕分けするとしたらテーブル番号の「5番」または、「18番」で調整していただきたい。

以上のとおり報告がされた。

また、議長より「テーブル番号20」・「21」についてもあわせて意見が求められ、現在提案のあった事業をすべて事業化することとなれば予算枠を約2,500千円超過している説明があり、これらを踏まえ委員より以下の内容のとおり意見が発言された。

(協議内容及び委員からの意見・協議内容)

「自主防災組織防災活動援助事業について」

・(意見) ガソリン携行缶については、京都アニメーションの事件以降ガソリンスタンドでも販売を厳しくされており、取り扱いについて責任を持てるか否かなど厳しいチェックのもと限定的に販売されることとなっている。今回提案のあった発動発電機への給油のための保管用と思われるが、そもそもガソリンにより動かす発動発電機ではなく今後は別のものを検討していくべきではないかと考える。

・(Q) ビニールシートについては仕様が様々あり、#1000～#3000とある。先日の台風被害で千葉県では現在でも屋根にビニールシートをかけ雨よけとしているが、そうした報道等によればビニールシートに穴があいてしまい雨漏りしているのを目にすることがあるため、#3000程度のしっかりとした物でなければ意味がないと考えるが、本計画にあるビニールシートの仕様はどのようなものか。

・(A) 事務局：#3000の仕様となっている。

・(Q) 配布された資料には継続事業として記載があるが、新規の記載誤りではないか。

・(A) 事務局：昨年度(平成30年度)、本年度同様に千郷地区防災連絡会からの事業提案によって、市の指定する避難所への簡易仮設トイレの配備を事業化した経緯があり、今回の記載にもあるとおり避難所用簡易トイレについては全30セットを配備計画していたが、予算都合上前年度の配備出来なかった数量が計画に上がっているものであり、こうした内容から継続と記載されている。

・(Q) 避難所用簡易トイレとは昨年度配備されているものも含めてではあるが、テントなどの目隠しも含まれているものであるか。

・(A) 事務局：昨年度のものも含めすべてテント付きのものである。

・(意見) 予算枠を超過しているとのことであれば、本事業内の一部の備品数量を減らし単年度事業ではなく、複数年計画とすることで調整してはどうか。

・(意見) 長机などは2年計画で導入することとしても差し支えないと思う。

「地域人材育成事業(2)について」

・(Q) この事業は何年度から実施しているのか。

・(A) 事務局：平成26年度から実施されており、隔年で事業実施している。今までに3回事業実施しているが、その内2回(平成28年度・平成30年度)については千郷地域自治区予算事業によって実施された経緯がある。

・(意見) 本事業は地域自治区予算事業として予算措置されなかった場合、それでも学

校側は実施するつもりであるのか疑問である。地域自治区予算を財源として実施することを最初から決めているように感じるが、本来こうした事業については学校側などで事業実施に必要な財源の確保については行われるのが当然とを感じる。

- ・(Q)この事業は千郷中学校以外に実施されている中学校はあるか。
- ・(A)事務局：千郷中学校以外ない。
- ・(意見) 前回地域協議会時にも協議中意見があがったと思うが、全額本地域自治区予算にて事業実施するとなると若干疑問である。学校として必要な事業であるとのことであり隔年で実施することが既に計画されているのであれば、やはり事業実施経費についても事前にどのように予算確保し実施していくかも計画されていることが前提であると感じる。学校側では他の予算確保方法について地域自治区予算事業以外の検討されていないのではないか。
- ・(Q)学校ではそもそも市役所の所管課に対し予算確保してもらえよう要望や働きかけを実施しているか。
- ・(A)事務局：学校としても教育委員会や所管課に対し話しをしてはいるが、千郷中学校のみの独自の取り組みであることから、本予算で予算確保することが難しいため学校側で事業費の捻出や確保については考えて頂きたい旨のことは言われているとのこと。
- ・(意見) 市所管課による教育予算での確保が難しいのはわかる。
- ・(意見) こうした事業は良い取り組みであると思うが、本地域協議会は学校から要望のあった事業について、善し悪しを検討する場でないし、そうした立場でもない。よって、地域課題解決の為に優先的に取り組むべき事業、また地域自治区予算措置をしてでも地域では事業実施すべきであるか否かによって優先順位を付け考えて行けば良いのではないか。なんとなく、こどもの為の事業となると気持ち的には優先して予算措置し事業実施に繋がるよう応援したくなる気持ちもわかるが、千郷地域でも地域計画が概ね策定されて来たこともあり、地域計画の方針等に沿ったものを優先的に考えるべきではないかと思う。
- ・(意見) 事業費の全部を本地域自治区予算で事業実施するのは、地域自治区予算枠に余裕があった場合は良いと思うが、現在超過しているため余裕がない。このため、どうしてもとういことであれば、例えば事業費の半額程度を地域自治区予算としての使い道として検討してはどうかと思う。
- ・そもそも学校関係の事に対し地域自治区予算を充てる事がいけないとの事であれば、せつかく地域が地域課題解決のためになるように考えているのに、何のための地域自治区予算なのか疑問である。

「小学校教材等整備事業について」

- ・(意見) 地域自治区予算の制度上、市の実施する事業の一部を地域で課題解決に向けた事業提案として施行方針や計画を提案できる仕組みとなっているはずである。このため、学校のことではあるが、地域の子どものためになることであれば事業計画に盛り込み予算措置や事業化しても良いと思う。
- ・(Q)本事業や同じような事業（学校や部活動等の備品購入）を他の地域協議会でも事業化されているのか。
- ・(A)すべての地域協議会で事業化されているわけではないが、他の地域協議会でも事業実施し備品購入されているところもある。
- ・(Q)事業実施に必要な予算確保として他にどういった方法が考えられるか。
- ・(A)委員：昔はPTAのバザーの売り上げなど資金調達方法を実施したこともある。

- ・（意見）楽器購入などの学校で使う備品類を本地域自治区予算にて購入することに対して疑問である。本当に必要な物であるならば所管課にて本予算で正式に予算化すべきものではないか。
- ・（Q）本年度千郷地域自治区予算事業において所管課から楽器購入（トロンボーン1台）したと聞いているが、既に学校には届いているか。
- ・（A）事務局：既に所管課により発注及び納品がされ学校に届いている。
- ・（意見）今回は金管バンド部での備品整備という内容の事業であるが、今後同様に他の部からの要望などがあった場合も同じ協議がされると思う。こうした内容のものを地域協議会で検討すること事態に違和感がある。やはりこれは市役所の所管課または学校サイドで課題解決に向けた方策を検討してもらうのが当然ではないかと思う。
- ・（意見）これも中学校が実施する地域人材育成事業（2）同様に予算超過している中で少しでも応援できるとすれば事業費の半分程度ではないか。
- ・（意見）昨年度より千郷地域は防災に強いまちづくりを目指し千郷地区防災連絡会を発足し今後計画的な防災備品等の整備をしていく方針を打ち出している。しかし限られた予算枠のうち防災のみの事業実施で本地域自治区予算の施行を行うより、様々な地域課題があるため広く事業展開していくために自主防災組織防災活動援助事業の一部事業費を縮小しこれを今回の小学校教材等整備事業に充てることはあっても良いと思う。

「歴史遺産の整備事業について」

- ・（Q）既存の大きな案内板については、ただ新しくなるだけなのか。
- ・（A）既存のデザインを変更し、もう少し魅力ある案内板を計画している。またこの看板デザインについては今後地域協議会の委員の方にも案をいただくことを考えている。

上記意見を踏まえ協議を行った結果、「テーブル番号5 自主防災組織防災活動援助事業」のうち(1)避難所用簡易トイレ（テント付き）、(2)長机（収納ラック付き）、(4)照明器具（バルーンライト）の整備について2ヶ年計画で実施することとし、それぞれ整備数量を半分とし、「テーブル番号20 小学校教材等整備事業」及び「テーブル番号21 地域人材育成事業（2）」を事業費の50%を負担する事業として計画に計上することとし、予算枠の最終的な調整は事務局に一任することとなった。

ただし、「テーブル番号20、21」については、事務局によってそれぞれ事業実施主体に対し事業費の半額程度を自己負担により確保し事業実施することについて承諾が得られず、事業自体を見送るとの意向やそうした申し出があった際は、「テーブル番号5」の2ヶ年計画実施のため整備数量を減らした部分にこれを充てることとし予算枠もあることから、これらについての調整についても事務局に一任することとされた。

上記のまとめられた地域自治区予算事業計画案について採決に移り、賛成多数により可決成立された。

②「地域計画策定（案）の検討について」

地域計画策定分科会委員長中野氏より地域計画の原案が出来上がったため、今までの分科会での策定経緯や計画内容について抜粋し説明と報告がされた。

また、事務局より本地域協議会により本日原案どおり承認されれば、地域に対し意見募集を実施し、その後速やかに冊子製本するため発注することの説明がされた。

その後、配布された地域計画原案を確認していただくため、少しの間時間を持ち、地域協議会委員に対し意見及び質問等を求めたが、特に意見等も無く採決に移った。

採決の結果、地域計画策定分科会によりまとめられた地域計画原案のとおり賛成多数により可決成立された。

③ 「パブリックコメントの実施（案）について」

事務局より、上記協議により承認された①令和2年度地域自治区予算事業計画（案）及び②地域計画策定（案）をもってパブリックコメントを実施し、地域からの意見等により事業計画の見直しが必要となる場合は改めて再度「建議」前に地域協議会を開催することとなる。

また、特に意見等がなければ次回令和元年10月31日（木）に正式に建議書（案）を決定し、第8回地域協議会で荏原会長より市長へ建議されることの説明があり、このことについて採決がなされ、賛成多数により原案のとおり令和元年10月1日（火）から15日（火）まで実施することについて可決成立された。

3 報告事項

事務局より以下の件について報告。

① 「第8回 地域計画策定分科会」の日程について

次回：令和元年10月16日（水）午後7時から 西部公民館会議室にて開催
議題：地域課題解決に向けた具体的取り組み事業の検討

② 「第8回 地域協議会」の日程について

次回：令和元年10月31日（木）午後7時から 西部公民館会議室にて開催
議題：平成31年度地域自治区予算事業計画「建議」

③ 「令和元年度 地域意見交換会」の日程について

日時：令和元年10月31日（木）午後7時30分から9時00分まで
西部公民館 多目的ホール

④ 「地域活動交付金事業」千郷西こども園保護会主催 子育て交流座談会開催について

日時：令和元年11月12日（火）午前9時00分より 千郷西こども園にて

⑤ 「第8回新城市市民まちづくり集会」の開催案内

日時：令和元年10月26日（土）午後1時30分から午後5時00分まで
新城文化会館大会議室にて開催

4 閉会

千郷地域協議会終了時刻 午後9時00分